

科目名称	診療関連技術Ⅰ（診察・検査関連の援助技術）	学年学期	単位数	時間数
		1 学年後期		30
担当教員	川崎由希	授業に関わる実務経験	☒ 有（ 看護師 ） ☐ 無	

【1】授業概要

看護師及び准看護師は、保健師助産師看護師法により、診療を補助する役割を担っている。医師の指示に基づいて診療の補助をする際の看護師の役割は、患者が安全・安楽に診療を受けられるような支援をすることである。ここでは、診察・検査・洗浄・吸入・吸引に関する基礎的知識、看護師の役割及び援助内容について授業展開する。

【2】学習目標

1. 診察時の看護師の役割について理解できる。
2. 検査の目的と方法、患者の心身の苦痛を最小限にする援助方法を理解できる。
3. 画像診断方法と画像診断時の援助について理解できる。
4. 洗浄に関する基礎的知識及び洗浄の補助時の注意事項を理解できる。
5. 吸入の意義を理解し、安全で効果的な援助方法を習得する。（噴霧吸入・酸素吸入）
6. 吸引の意義を理解し、安全で効果的な援助方法を習得する。（一時的吸引・持続的吸引）

【3】ディプロマポリシーとの関連性

- I. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力
- 1. 人間を生活者として捉えることができる。
 - 2. 人間の生命、尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。
- II. 看護を実践する力
- 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
 - 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
 - 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。
- III. 人間関係を構築する力
- 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
 - 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。
- IV. 主体的に学び続ける力
- 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解できる。
 - 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	診察時の看護師の役割	講義
2	主な検査① 検体検査・検体の取り扱い	講義
6	穿刺時の看護	講義
3	主な検査② 生体検査・検査機器の取り扱い	講義
5	画像診断のための各種検査法	講義
4	静脈血採血の実際	学内実習
7	洗浄時の看護	講義
8	吸入① 噴霧吸入	講義
9	吸入② 酸素吸入	講義
10	吸引 一時的吸引法と持続的吸引法	講義
11	吸入の実際① 噴霧吸入	学内実習
12	吸入の実際② 酸素吸入	学内実習
13	吸引の実際	学内実習
14	創傷管理と包帯法	講義・学内実習
15	試験	筆記試験

【5】評価方法

筆記試験

【6】教科書

千葉 京子 他著「看護学入門6 基礎看護Ⅱ《基礎看護技術》」第7版 メヂカルフレンド社
 藤野彰子他 編著「看護技術ベーシックス 第2版」サイオ出版

【7】参考書

適宜提示します。

【8】受講生へのメッセージ

事前学習として、教科書の該当ページを読んでから授業に臨みましょう。レポートは提出期限厳守です。